

第5回 木質建築空間 デザインコンテスト

5th WOODEN ARCHITECTURAL SPACE DESIGN COMPETITION

審査結果発表

応募登録総数 524件

作品提出

住宅部門	194件
一般建築部門	90件
テーマ部門	84件
計	368件

審査委員長
平倉直子 氏 建築家・平倉直子建築設計事務所 代表

審査委員
石田敏明 氏 建築原・前橋工科大学大学院 教授

樹田洋子 氏 枠亭舎 代表
藤原正隆 日本エンバイロケミカルズ株式会社 代表取締役社長

主催:日本エンバイロケミカルズ株式会社
共催:日経アーキテクチュア
協力:ケンプラツツ

審査を振り返って—

回を重ねるごとに木材の可能性に挑戦する意欲的な作品が増えています。構造、環境、内外の空間構成、景観、機能性を損なわずに新しいデザインへと結び、コンテストの意義と醍醐味を感じることができました。「そこに流れる空気の質」「空間より触発されるアクティビティ」など、限られたプレゼンテーションの中で、眼に見えないコトも汲み取るべく議論しました。残念なことは、街の活性化に繋がる商業建築や集合住宅、都市型住宅等木造として難しい条件を堅実にまとめた作品が受賞から漏れた事です。

一企業の枠を大きく超え、若い設計者へのエールと木質建築空間がその可能性を広げることを目的に立ち上げたこのコンテスト、限りある賞の中で幸運に恵まれた受賞者が、次の機会に繋がるよう願っております。

審査委員長 平倉直子

住宅部門賞 (4作品)



「二重屋根の家」
末光弘和+末光陽子 SUEP.



「山の上の家」
白浜誠 白浜誠建築設計事務所



「UNOU」
佐々木勝敏 佐々木勝敏建築設計事務所



「コヤノスマカ」
川本敦史+川本まゆみ mA-style建築計画

写真:中村繪

一般建築部門賞 (3作品)



「木の洞窟」熊本県立球磨工業高等学校管理棟
ワークステーション・モードフロンティア・
萩嶺設計共同体



「岡山県立大学同窓会館」
岩本弘光 岡山県立大学



「森の回廊」-Loop-
前田圭介 UID

テーマ部門賞 (インテリア)



「大阪木材仲買会館」
白波瀬智幸+興津俊宏
竹中工務店



「鏡野公園バス停」
吉田晋 高知工科大学
梅原佑司 (梅原佑司デザイン事務所)

大阪 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル
東京 〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階

Tel. 0120-124-123

最優秀賞

「風の音」

芦澤竜一

滋賀県立大学/
芦澤竜一建築設計事務所

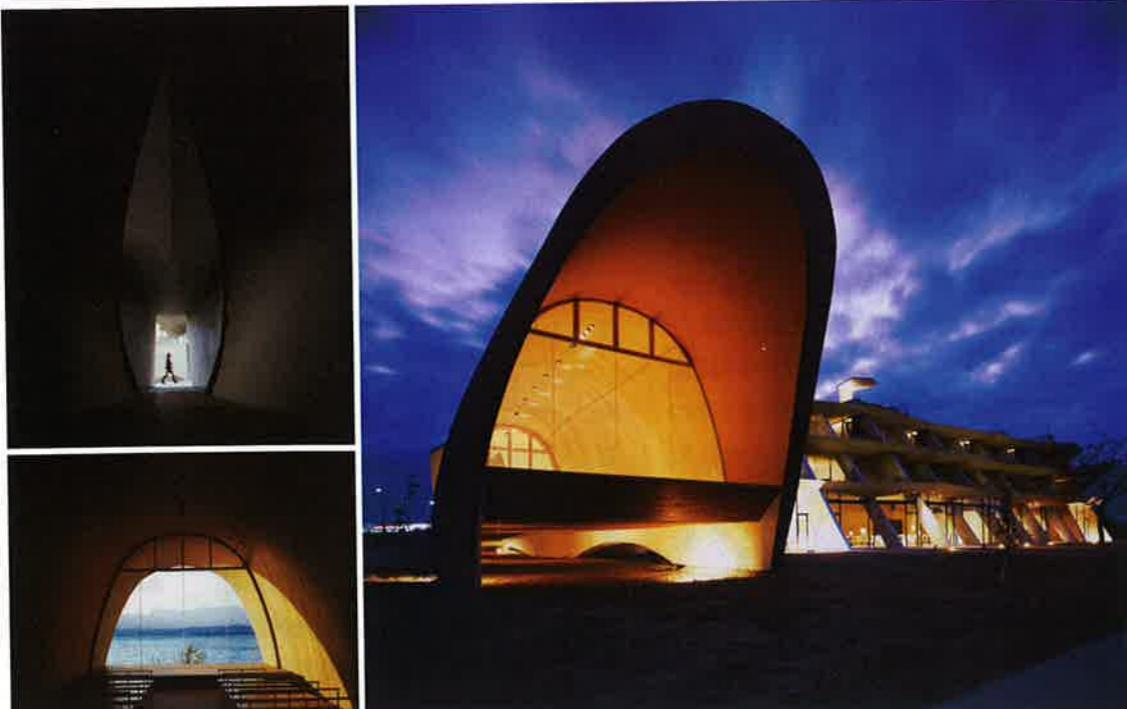


写真:市川かおり

審査委員講評

その空間に佇みしばし時を過ごしてみたい、というのが最大の選考理由です。コンサートホールは設計者の最終到達点といわれます。楽器となつた空間に身を置き、音に包まれた時の感動は如何ばかりでしょう。恵まれた条件とはいえ、そうした発想に誰でも至るものではなく、シンプルで美しい空間が、千載一遇のチャンスにチームを組んでまとめた努力により生まれたのです。今後、廻りのランドスケープがどのように展開されるかに期待します。

平倉直子氏

風を媒体とした楽器に見立てたチャペルである。楽器としての建築を実現するという目的に向かって、形態や構造、素材が決定された極めてピュアな建築です。船底のようなかたちをした空間はアプローチから琵琶湖に向かって未広がりに大きな開口が設けられたその先には水面と山並みが見えます。視覚と音の演出を巧みに取り入れた空間は室内に居ながら、周りの自然と一体となる環境装置として、また門出を祝福する船のように見え、祝祭空間として素晴らしいと評価しました。

石田敏明氏

湖からの風が抜けると天井に張ったハープ弦が音を奏でるとは、なんと想像力をかきたてる建築だろう。滑らかなフォルムを支えるのはアーチ状に湾曲させた国産カラマツのLVL材である。等間隔に並べ、外側に構造用合板を貼って面剛性を確保し、内側は音響を考慮して2.5mmのラウンで仕上げている。硬質な梁の床材に施された塗装が、無装饰の空間の静けさをさらに深めている。風が吹ぐ日は波の音に耳を澄ませて過ごしたい。丁寧なプレゼンシートから建築への想いが届いた。

樹田洋子氏

各賞の講評結果など、
コンテスト結果発表の詳細は
こちらでご覧いただけます。

> <http://special.nikkeibp.co.jp/as/wood5report/>